

平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月6日

上場取引所 大

上場会社名 佐渡汽船株式会社

コード番号 9176 URL <http://www.sadokisen.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小川 健

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 臼杵 章

TEL 025-245-2311

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	4,824	1.0	△598	—	△652	—	△629	—
23年12月期第2四半期	4,774	△9.0	△419	—	△462	—	△491	—

(注) 包括利益 24年12月期第2四半期 △644百万円 (—%) 23年12月期第2四半期 △477百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	△45.27	—
23年12月期第2四半期	△35.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第2四半期	11,756	1,711	11.9
23年12月期	11,687	2,351	17.3

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 1,401百万円 23年12月期 2,021百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	—	—	0.00	0.00
24年12月期	—	—	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成24年12月期の配当につきましては、現段階では未定とさせていただきます。

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,605	0.2	389	△23.0	225	△44.4	204	△27.3	14.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は[添付資料]4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年12月期2Q	13,969,402 株	23年12月期	13,930,902 株
24年12月期2Q	43,557 株	23年12月期	43,557 株
24年12月期2Q	13,903,845 株	23年12月期2Q	13,887,687 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

また、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興事業の進捗などにより持ち直しの動きがみられましたが、欧州の金融不安による世界経済の減速懸念に加え、輸出の減少や長期化するデフレなどの影響により、依然として不透明な状況で推移しました。

当社グループにおきましては、当第2四半期連結累計期間は冬期間では天候不順による輸送量の減少が見られましたが、4月以降は放鳥されたトキのヒナ誕生等の明るい話題もあり、昨年発生した東日本大震災の影響を払拭できないものの、観光客については前年同期から増加しました。特に団体客は旅行会社による企画ツアー実施が回復傾向にあること、また修学旅行が6月に集中したこともあり大幅に増加しました。一方、前年に佐渡島内で行われていた総合病院の新築工事に伴う大幅な資材輸送増加の反動に加え、佐渡産米の輸送方法が変更されたことから、特に貨物部門について前年同期から大幅に減少しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,824,134千円（前年同期比1.0%増）、営業損失は598,947千円（前年同期は419,408千円の営業損失）、経常損失は652,908千円（前年同期は462,873千円の経常損失）、四半期純損失は629,437千円（前年同期は491,072千円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。なお、当社グループの売上高は事業の性質上、第3四半期に著しく増加する傾向にあり季節的変動が顕著であります。

①海運

当第2四半期連結累計期間の旅客輸送人員は671,742人（前年同期比8.2%増）、自動車航送台数は乗用車換算で97,147台（前年同期比2.6%減）、貨物輸送トン数は54,218トン（前年同期比21.6%減）となりました。

輸送実績は、旅客部門は前年は東日本大震災により旅行キャンセルが相次いだ反動もあり、前年同期を上回りました。一方、自動車航送及び貨物部門においては、前年に佐渡島内で行われていた総合病院新築工事に伴う資材輸送等による大幅な増加の反動に加え、佐渡産米の輸送方法が変更されたことにより前年同期を下回りました。

以上の結果、売上高は3,235,106千円（前年同期比3.7%増）、セグメント損失（営業損失）は508,554千円（前年同期は394,773千円のセグメント損失（営業損失））となりました。

②一般貨物自動車運送

佐渡産米の輸送方法が変更されたこと、前年、佐渡島内において行われていた総合病院新築工事に伴う資材輸送に代わる輸送がなかったことから売上高は減少しました。

以上の結果、売上高は787,661千円（前年同期比9.1%減）、セグメント損失（営業損失）は28,833千円（前年同期は18,207千円のセグメント利益（営業利益））となりました。

③売店・飲食

前年の東日本大震災の影響により観光客が減少していましたが、本年はこの反動により観光客が増加したため、売店・食堂部門の売上高が増加したことに加え、積極的にイベント等への売店出店を行った結果、売上高は増加しました。

以上の結果、売上高は493,386千円（前年同期比6.2%増）、セグメント損失（営業損失）は28,740千円（前年同期は40,271千円のセグメント損失（営業損失））となりました。

④観光

観光客は前年の東日本大震災による減少の反動により増加しましたが、前連結会計年度は観光施設部門に計上されていた(株)佐渡歴史伝説館の売上高が当第2四半期連結累計期間は無いことから売上高は減少しました。また、(株)SADO二ツ亀ビューホテルの改装に伴う減価償却費の増加等により売上原価が増加しました。

以上の結果、売上高は236,752千円（前年同期比10.0%減）、セグメント損失（営業損失）は46,691千円（前年同期は27,341千円のセグメント損失（営業損失））となりました。

⑤その他

建物サービス業では設備保守点検料が増加したこと、不動産賃貸業において当第2四半期連結累計期間は(株)佐渡歴史伝説館の業績が増えたことにより売上高は増加しました。

以上の結果、売上高は71,229千円（前年同期比19.1%増）、セグメント損失（営業損失）は4,467千円（前年同期は1,243千円のセグメント損失（営業損失））となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ68,992千円増加し11,756,305千円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ130,271千円減少し3,537,733千円となりました。これは、受取手形及び売掛金が222,038千円、その他が62,702千円それぞれ増加したものの、借入金の返済進行や設備投資の増加等により現

金及び預金が410,871千円減少したこと等が主な要因であります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ195,392千円増加し8,214,701千円となりました。これは当社において基幹システムの更新を行ったこと等により無形固定資産が81,024千円増加したことや、投資その他の資産が94,041千円増加したこと等が主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ709,016千円増加し10,044,597千円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ1,108,711千円増加し4,722,639千円となりました。これは、短期借入金が165,000千円減少したものの、1年内返済予定の長期借入金が387,127千円、支払手形及び買掛金が230,340千円、その他が665,290千円増加したことが主な要因であります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ399,695千円減少し5,321,958千円となりました。これは、当社において社債の発行が250,000千円あったものの、長期借入金が622,369千円減少したこと等が主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ640,024千円減少し1,711,708千円となりました。これは、四半期純損失629,437千円を計上したことが主な要因であります。

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動による資金の減少が56,617千円、投資活動による資金の減少が178,385千円、財務活動による資金の減少が158,270千円となり、前連結会計年度末に比べ393,272千円減少し、当第2四半期連結累計期間末残高は1,653,259千円（前年同期比31.1%増）となりました。各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の減少は56,617千円（前年同期は357,848千円の増加）となりました。これは税金等調整前四半期純損失が643,659千円となり、減価償却費が340,475千円、仕入債務の増加が230,343千円発生したことが主な要因であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は178,385千円（前年同期は351,199千円の減少）となりました。これは補助金収入が141,833千円あったものの、有形及び無形固定資産の取得による支出が317,018千円あったことが主な要因であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は158,270千円（前年同期は125,025千円の増加）となりました。これは長期借入れによる収入が1,174,300千円あったものの、長期借入金の返済による支出が1,409,540千円あったことが主な要因であります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年2月17日に公表いたしました第2四半期累計期間の業績予想を平成24年8月6日に修正しております。修正理由等につきましては、平成24年8月6日付「平成24年12月期第2四半期累計期間（連結・個別）の業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

また、通期の業績予想につきましては、当社グループの売上高は事業の性質上、第3四半期に著しく増加する傾向にあり、今後の業績に与える影響を現時点においては予測することが困難であることから、据え置くこととしております。

輸送状況等、当社グループの今後の状況を鑑み、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（1株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間より「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失を計上しているため記載しておりません。

（減価償却方法の変更）

一部の連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第2四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

（4）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,148,754	1,737,883
受取手形及び売掛金	639,183	861,221
たな卸資産	632,243	629,607
繰延税金資産	91,859	91,662
その他	158,559	221,261
貸倒引当金	△2,594	△3,901
流動資産合計	3,668,004	3,537,733
固定資産		
有形固定資産		
船舶(純額)	1,255,055	1,210,953
建物(純額)	3,409,147	3,367,194
土地	1,913,289	1,913,289
その他(純額)	755,862	862,244
有形固定資産合計	7,333,353	7,353,680
無形固定資産		
のれん	81,258	59,481
その他	219,205	322,006
無形固定資産合計	300,463	381,487
投資その他の資産		
投資有価証券	156,800	187,605
長期前払費用	172,739	235,229
繰延税金資産	547	479
その他	55,488	56,275
貸倒引当金	△80	△54
投資その他の資産合計	385,493	479,534
固定資産合計	8,019,309	8,214,701
繰延資産		
社債発行費	—	3,871
繰延資産合計	—	3,871
資産合計	11,687,313	11,756,305

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	354,950	585,290
短期借入金	611,000	446,000
1年内返済予定の長期借入金	1,946,432	2,333,559
未払法人税等	21,578	12,033
賞与引当金	40,364	40,863
その他	639,604	1,304,894
流動負債合計	3,613,928	4,722,639
固定負債		
社債	—	250,000
長期借入金	4,638,124	4,015,755
退職給付引当金	650,637	679,331
役員退職慰労引当金	25,072	27,702
特別修繕引当金	84,459	107,512
資産除去債務	35,459	35,735
負ののれん	35,864	25,979
その他	252,037	179,944
固定負債合計	5,721,653	5,321,958
負債合計	9,335,581	10,044,597
純資産の部		
株主資本		
資本金	801,103	805,797
資本剰余金	638,959	643,654
利益剰余金	617,061	△12,376
自己株式	△46,526	△46,526
株主資本合計	2,010,598	1,390,551
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,884	10,700
その他の包括利益累計額合計	10,884	10,700
新株予約権	26,978	24,594
少数株主持分	303,271	285,863
純資産合計	2,351,732	1,711,708
負債純資産合計	11,687,313	11,756,305

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
売上高	4,774,350	4,824,134
売上原価	4,675,473	4,930,528
売上総利益又は売上総損失(△)	98,877	△106,394
販売費及び一般管理費	518,285	492,553
営業損失(△)	△419,408	△598,947
営業外収益		
固定資産賃貸料	38,797	37,910
受取利息	192	225
受取配当金	3,646	3,618
その他	42,685	32,822
営業外収益合計	85,320	74,575
営業外費用		
支払利息	108,423	96,760
固定資産賃貸費用	12,035	13,563
その他	8,327	18,213
営業外費用合計	128,785	128,536
経常損失(△)	△462,873	△652,908
特別利益		
前期損益修正益	31	—
固定資産売却益	31,203	8,668
過年度消費税還付金	23,256	—
受取保険金	13,158	—
その他	3,307	1,423
特別利益合計	70,955	10,091
特別損失		
固定資産売却損	195	486
固定資産除却損	2,036	337
減損損失	15,724	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	24,929	—
その他	2,647	19
特別損失合計	45,531	842
税金等調整前四半期純損失(△)	△437,450	△643,659
法人税、住民税及び事業税	29,499	10,778
法人税等調整額	6,880	△9,807
法人税等合計	36,379	971
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△473,829	△644,630
少数株主利益又は少数株主損失(△)	17,243	△15,193
四半期純損失(△)	△491,072	△629,437

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△473,829	△644,630
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,938	74
その他の包括利益合計	△3,938	74
四半期包括利益	△477,767	△644,556
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△494,934	△629,621
少数株主に係る四半期包括利益	17,167	△14,935

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△437,450	△643,659
減価償却費	411,328	340,475
減損損失	15,724	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△359,419	1,280
受取利息及び受取配当金	△3,838	△3,843
支払利息	108,423	96,760
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	24,929	—
売上債権の増減額(△は増加)	487,274	△222,039
たな卸資産の増減額(△は増加)	△21,562	2,637
仕入債務の増減額(△は減少)	38,442	230,343
のれん償却額	11,648	11,892
過年度消費税還付金	△23,256	8,659
社債発行費償却	—	352
賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,633	△4,901
退職給付及び役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	33,906	31,325
株式報酬費用	7,689	6,965
特別修繕引当金の増減額(△は減少)	△24,022	23,052
有形及び無形固定資産売却損益(△は益)	△31,008	△8,182
有形及び無形固定資産除却損	2,036	337
未収消費税等の増減額(△は増加)	85,633	△33,240
未払消費税等の増減額(△は減少)	15,734	△53,427
その他	148,851	259,267
小計	483,429	44,053
利息及び配当金の受取額	3,838	3,843
利息の支払額	△119,745	△86,276
法人税等の支払額	△9,674	△18,237
営業活動によるキャッシュ・フロー	357,848	△56,617
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△6,950	△32,460
投資有価証券の売却による収入	18	1,381
有形及び無形固定資産の取得による支出	△392,585	△317,018
有形及び無形固定資産の売却による収入	35,095	10,013
補助金収入	84,992	141,833
定期預金の預入による支出	△166,906	△80,561
定期預金の払戻による収入	100,008	98,162
短期貸付けによる支出	△5,000	—
長期貸付金の回収による収入	49	50
その他	80	215
投資活動によるキャッシュ・フロー	△351,199	△178,385

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	455,000	40,000
短期借入金の返済による支出	△292,750	△205,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,284	△1,333
長期借入れによる収入	1,666,400	1,174,300
長期借入金の返済による支出	△1,699,856	△1,409,540
社債の発行による収入	—	245,777
自己株式の取得による支出	△11	—
少数株主への配当金の支払額	△2,474	△2,474
財務活動によるキャッシュ・フロー	125,025	△158,270
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	131,674	△393,272
現金及び現金同等物の期首残高	1,129,234	2,046,531
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,260,908	1,653,259

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	海運	一般貨物 自動車運送	売店・飲食	観光	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,120,041	866,650	464,703	263,141	4,714,535	59,815	4,774,350
セグメント間の内部売上高 又は振替高	62,015	184,190	8,728	337,548	592,481	81,762	674,243
計	3,182,056	1,050,840	473,431	600,689	5,307,016	141,577	5,448,593
セグメント利益又は損失(△)	△394,773	18,207	△40,271	△27,341	△444,178	△1,243	△445,421

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物サービス事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△444,178
「その他」の区分の利益	△1,243
セグメント間取引消去	26,013
四半期連結損益計算書の営業損失	△419,408

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「海運」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結会計期間において13,047千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	海運	一般貨物 自動車運送	売店・飲食	観光	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,235,106	787,661	493,386	236,752	4,752,905	71,229	4,824,134
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,443	161,162	11,927	269,983	450,515	96,420	546,935
計	3,242,549	948,823	505,313	506,735	5,203,420	167,649	5,371,069
セグメント損失(△)	△508,554	△28,833	△28,740	△46,691	△612,818	△4,467	△617,285

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物サービス事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△612,818
「その他」の区分の利益	△4,467
セグメント間取引消去	18,338
四半期連結損益計算書の営業損失	△598,947

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。